

中高生が企画から参加できる行事づくり【夜の児童館探検】

取組の背景・目的

元々児童館で行われていた児童館宿泊行事が、コロナ禍によりできなくなってしまったため、日帰りで、普段と違った児童館を体験してもらう行事が何かできないかという事から「夜の児童館探検」が生まれた。

また、内容を考えていくうちに、やはりコロナ禍でできなかった「中高生タイム」から、中高生を中心に意見をだしてもらい、企画・準備・当日の行事の進行の手伝いをしてもらう事で、中高生の積極的な行事参加という形ができた。

取組の概要

国分寺市から指定管理者として児童館の運営を委託されている NPO 法人ワーカーズコープが自主事業という形で実施。土曜日の夕方、通常開館中のなか、児童館の1階の一部と2階遊戯室を使用する事にした。

基本のコンセプトは「冒険」。2階遊戯室を「アドベンチャー」「メルヘン」「ホラー」の3つのゾーンに分けて、それぞれの場所で決められた条件を満たして脱出するゲーム形式とした。中高生はそれぞれのゾーンの企画・準備のため行事の前から話し合いを行ったり準備をしてもらったりした。

日時は令和4年7月30日(土)午後6:30~8:00 に行う予定だったが、コロナの感染拡大により延期。同年11月26日(土)に実施した。

当日の実施も児童館職員、学童職員の応援、中・高校生スタッフの総勢13名によって行う事ができた。当日参加者は、80名。(大人26名、小学生44名、中学生10名)

工夫点・留意点

幻想的な世界観を演出するために、遊戯室を暗くして蛍光塗料などで絵を描き、ブラックライトで照らしその中を探検してもらったが、全体が暗いので探検中に怪我をしないように気を配った。また、密にならないように探検するグループに間隔をとってもらい、子どもたち及びスタッフには、互いに触れないようにしてもらった。



取組の効果

中高生が集まるきっかけの一つとなった他、小学生からも自分が中学生になったら企画から参加してみたいなどの意見もでて、来年度以降につなげる励みとなった。

課題・今後の展開

この行事は、企画内容から準備、当日のサポートなど、内容が更に広がる可能性がある。例えば、子ども達に蛍光塗料で絵を描いてもらい、暗闇でブラックライトを照射して絵を浮かびあがらせる「夜の展覧会」なども、やっていきたい。

年度が変わると、小学6年生が中学生に、中学1年生が2年生にと、環境や置かれる立場が大きく変化する。楽しんでた側から、楽しませる側にもなる。継続的、定期的に来館してもらえよう、その年代にあった声かけや対応を丁寧に行う事が必要だ。

また、不登校児の配慮として、事前に作品を作り上げ、当日参加できなくても様子を伝えることで、行事への一体感を味わってもらい、他者とのつながりを感じてもらえる機会としていきたい。

よる **じどうかんたんけん**

夜の児童館探検

ご
午後

11/26 (土)

6:00 ~ 8:00

ふん
(探検は15分ほどです)

たいしょう しょうがくせいじょう じゃっかんめい せんちやくじゆん

【対象】小学生以上 若干名(先着順)

もうしこ

げつ

ど

ごぜん

ごご

【申込み】7日(月)~19日(土)午前10:00~午後6:30

にちよう のぞ
(日曜は除く)

もうしこ しょ か くぼ
申込み書を11月1日(火)から配ります。

さんかしゃほんにん ちよくせつらいかん もう こ
参加者本人が直接来館して申し込んでください。

ほごしゃ ひつよう
※申込み書には保護者のサインが必要です。

ぎょうじ

げんそく ほごしゃ

むか

ひつよう

こちらの行事は原則保護者のお迎えが必要となります。

ふめい てんなど

しょくいん

ご不明な点等ございましたら職員におたずねください。

こんかい がつぎょうじ えんき
※今回は7月行事の延期によるものですので

もうしこ かた ゆうせん
7月に申込みをされた方が優先となります。

きぼう じかんたい たんけん かのうせい
またご希望の時間帯に探検できない可能性があります。
あります。

